



多様な価値観を尊重し合い協働することで、イノベーションや価値を創出し続ける。

SUBARUグループは、サステナビリティ重点6領域の一領域として「ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョン (DE&I)」を掲げて推進しています。



社員への啓発活動

SUBARUグループは人権方針において性別・性自認および表現・性的指向に関する差別を禁止しています。全従業員がLGBTについて正しく理解するために、定期的なセミナーの実施や社内報での情報発信を行ってきました。当事者の置かれた状況の理解だけでなく、“Ally”の輪を広げるための取り組みを通年で実施しています。



同性パートナーも配偶者と等しく

2022年には同性パートナーにも福利厚生を適用する制度改定を行いました。配偶者に事実婚やパートナーも含んだことで、社宅・支援手当・休暇などの利用が可能となっています。

LGBT相談窓口



働きやすい職場づくり

風土面では2021年より外部相談窓口を設置、全従業員へカードを配布し周知してきました。社内呼称や健康保険証の変更、更衣室の配慮など、相談者に寄り添って対応しています。また当事者の方と毎月の意見交換も実施しています。



ALLYを増やす取り組み

PRIDE指標において、昨年に続きゴールド認定を取得しました。有志でプライドイベントや社外イベントに参加し、アライ活動としてイベントの企画やイントラネットで情報発信を行っています。